

第5回松本市基本構想2030市民会議 会議録

1 開催日時

令和3年1月14日（木）18時00分～21時00分

2 開催方法

オンライン開催

3 出席委員

山本達也 委員、三輪裕彦 委員、山村和永 委員、上原道家 委員、
内山博行 委員、原薫委員、菊地徹 委員、益山代利子 委員、清水是昭 委員、
齊藤忠政 委員、渡邊匡太 委員、宮下祐介 委員、荒井英治郎 委員、
海野暁光 委員、三村仁志 委員、窪田隆彦 委員、赤沼留美子 委員、
佐藤佳子 委員

4 欠席委員

林靖人 委員、伊藤博敏 委員、内田佑香 委員

5 事務局出席者

中野政策部長、近藤総合戦略課長、藤井課長補佐、山口主任、小松主任、
各部局担当職員

6 議事項目

- (1) 松本市基本構想2030（素案）について（全体会議）
- (2) 総合計画体系案（全体会議）
- (3) （仮称）DXで目指す松本のまちについて（全体会議）
- (4) 第11次基本計画の施策案について（部会毎）

7 会議録

- (1) 松本市基本構想2030（素案）について（全体会議）

| No. | 項目 | 意見等の概要 |
|-----|----------|--|
| 1 | 基本構想（素案） | ・市民会議の原案をかなり尊重していただいた。感謝する。 ・「1 趣旨」と「3 基本理念」に、「将来を見据え」という表現が重複している。 |
| 2 | 一丸となって | ・「一丸となって」という言葉が強制的に感じられるようであれば、「協働しながら」や「ともに」という言葉に置き換えたかどうか。 |
| 3 | 人口の考え方 | ・人口以外にも重要な視点はあはず。 |

| | | |
|---|--------------------------------|--|
| 4 | 「50年先、100年先の将来を見据え」 | <ul style="list-style-type: none"> ・シンプルに「将来を見据え」と表現してはどうか。 ・市民会議の議論の中心とも言える部分、将来、松本に住む人々のために、何をすべきなのかを考えるべき。 ・目先の利益ばかり追い求める傾向にある中、「遠きをはかる」ことが重要であり、今の時代にこそ必要な表現 |
| 5 | 固定観念や因習 | 「因習」という言葉はあまり好ましくない。弊害を生むしきたりというようなネガティブな意味になる。 |
| 6 | 「松本らしさを『シンカ』する」 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民や行政が行動することを意識し、『シンカ』するという言葉にした。「シンカ」させるという言い回しもできるが、上からモノを言っているような印象になる。 ・「シンカする」と括弧することで、一つの言葉として捉えやすくなるのではないか。 ・「松本らしさの『シンカ』」と言い換えてはどうか。 |
| 7 | 行動指針全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの意識や行動変容を促す、基本構想2030の肝と考える。一方で、「指針」という言葉に対する違和感、指摘が多いのであれば、「アクション」と言い換えては。 ・「指針」とするとパターンリスティックな印象を抱く方が多い。「行動理念」としたらどうか。 ・行動指針に書かれている言葉が足りないのではないか。具体的な行動を実践していくことがポイント |
| 8 | あるがままの自分 | ・ありのままの自分とした方が良い。 |
| 9 | 各行動指針に共通する視点 ⑥ 多様性・共生・利他の精神 | <ul style="list-style-type: none"> ・「利他の精神」について、「たすけあい」「福祉の精神」、「博愛」、などに言い換えられるのではないか。 ・行き過ぎた「利他」は自己犠牲にもなりうる。「利己」も「利他」も本来は区別がないはず。そこに行きつくことを目指すべき。 |

(2) (仮称) DXで目指す松本のまちについて (全体会議)

- ・取り組むべきことであり、期待感を持っている。

(3) 総合計画体系案について (全体会議)

- ・基本理念に三ガク都を位置付けていることから、三ガク都に分けた整理はできないか。
- ・SDGsの推進に関して、共通する視点に加えてはどうか。
- ・事業が縦割りにならないように検討して欲しい。
- ・基本構想は10年計画、基本計画は5年計画であるので、施策は、今後5年で何をすべきかの政策の方向性を記載すべき。

(4) 第11次基本計画の施策案について (部会毎)

- 3部会に分かれて、議論を行いました。

以上